

笑顔と挨拶

毎朝、正門の前に立って「おはよう」と声をかけていると、生徒諸君から様々な挨拶が返ってきます。挨拶と一緒に毎日その姿を見続けることで、生徒一人一人の外面だけでなく内面までもが、はっきりと見えてくる気がします。そして、私が笑顔を見せることで、少しでも元気や和みを与えられることができればと、勝手な思いを込めて毎朝の挨拶をしています。



挨拶とは「おはよう」「こんにちは」だけではありません。相手の思いやりや親切を感じた時のお礼の「ありがとう」、自分の不注意で迷惑をかけてしまった時のお詫びの「ごめんなさい」なども、全て挨拶だと思います。

日常の挨拶がおざなりになってくると、やがて手足がぶつかっても肩が触れても、謝りもしない人たちが現れてきます。「ごめんなさい」も言えない社会は、楽しい社会であるはずがありません。短い挨拶ひとつで、この社会が温かくなるのです。

しつけは挨拶からということで、「STEP運動」というのを以前聞いたことがあります。Sはスマイルで「笑顔」、Tはサンキューで「感謝」、Eはエクスキューズミーで「ごめんなさい」、Pはプリーズで「譲る気持ち」です。誰が言い出したことかわかりませんが、でも挨拶の本質についていると思います。そこで、この4つを未来を担う子どもたちに、今の大人が真剣に教えていこうという運動が「STEP運動」です。

子どもが大人の行為を映し出す鏡だとすれば、親がまずしっかりと挨拶をしなければならぬはずで、学校ならば生徒と教師です。生徒を指導する立場の教師がこの「STEP」を自分のこととして実践しなければ、生徒には笑顔もなく、挨拶も当然しないとします。

4つの基本はスマイル、笑顔だと私は思います。欧米の人たちはなぜか笑顔がとても素敵です。歴史や文化の違い、いや人間性でしょうか？

もう20年ほど前のことですが、初めてヨーロッパを旅行したとき、宿泊したホテルでは誰に会ってもニコッと笑って挨拶をしてくれました。私が日本と同じような感覚で緊張してロビーを歩いていると、目が合えばニコッと微笑みかけてくるのです。見ず知らずの旅行者に、ニコッと笑って挨拶をしてもらえただけで、その国とその国の人々が大好きになります。ヨーロッパは懐が深くて素晴らしいと思いました。

エレベーターに乗る時にも、肩越しにニコッと笑って、「プリーズ」という仕草をします。私も「サンキュー」と挨拶はするものの、なかなかあの笑顔までは出てきません。ヨーロッパの男性も女性も、笑顔がとても自然で本当に魅力的でした。

今は日本も国際化が加速し、いろいろな外国人がやってくるようになりました。はたして私たちは、彼らに心のこもった挨拶をしているのでしょうか、自然で素直な笑顔を、相手に向けることができているのだろうかと思ってしまう。当然ですが、いきなり挨拶や笑顔ができる訳はありません。日常的な心がけが大切なのだと思います。

少し大げさな言い方をすれば、心のこもった挨拶や笑顔ができる国の人は、国としての品格があり、人を尊重し大切にす文化のある国だと私は思っています。

電車の中や混み合った通路で、無言で人の体に手をかけて、押しのけて通る人が時々います。持ち物や体が人にぶつかっても無言です。こんなとき、脇を通る前にニコッと笑って「すみません」とひとこと言えば済むことです。無視して無言で通り過ぎるのは、あまりにも悲しすぎます。

私は、学校や自宅近くで知らない人と目が合うと、朝は「おはようございます」と挨拶するようにしています。でも、自分で意識してやっていることなので、会心の笑顔が浮かべるまでには、残念ながらまだ至っていません。

実は、ある生徒にこんなことを言われました。

「『おはよう』という挨拶を形式的に言わせるようなことは、私は嫌いです」

その生徒は「おはよう」というのは、自然に親しみの気持ちが浮かんで来て、無意識のうちに口から出るものというのが理由です。まったくその通りです。でも、かたちから入って行って、心が変わってくるということもあります。私たちは、辛い時や苦しい時に無理してでも笑っていれば、いつしか心が軽くなり辛さが和らぐことを知っています。心理学ではそれを事実として認めています。

ですから、私は毎日一方的に、笑顔で「おはよう」と生徒諸君に挨拶をしています。笑顔は自分には見えません。人にあげるものです。挨拶も同じです。

「おはよう」「ありがとう」「どうぞ」「ごめんなさい」と、自分からそんな挨拶を声に出して言っているうちに、自然に心がこもってくると思います。繰り返すことで、だんだんに無意識に身についていくことだと思っています。相手を思う心のアンテナを張っていると、相手にもその心の波動が伝わっていくと信じています。意識して目に見えるかたちから入って行って、結果として心のこもった挨拶ができるようになれば、それはそれで素晴らしいことではありませんか。

そんなことを考えて、昨年からは毎日挨拶を始めました。そして1年以上が経ち、今では生徒の皆さんに挨拶することが、楽しくて嬉しくて幸せで、まさに望外の喜びです。一日の始まりに生徒の皆さんからの挨拶で、私はいつも元気をもらっています。そして、大垣東高と東高生をますます大好きになっていきます。

平成23年9月22日

大垣東高等学校長 浅野裕司

